

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	スーパー（店長）	・全国ベースでの個人消費はやや明るさを示したものの、北海道の改善の兆しはいまだに不透明と思われる。しかしながら店頭での顧客動向から、やや回復基調に乗りつつあるとみている。
		スーパー（店長）	・3月に引き続き、販売数量は右肩上がりのトレンドとなっているので、まだこの状態が続いてくものとみている。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車の投入もあり、受注台数はこれから期待できそうである。
		旅行代理店（従業員）	・本州方面への旅行の活発さに刺激され、道内旅行が動き始めると予測している。更に道内需要喚起策などが具体化すれば夏場の旅行需要が昨年より悪化することはない。
		美容室（経営者）	・以前よりも新商品に対して関心を示し、気に入れば買うといった傾向が出始めている。
変わらない		商店街（代表者）	・観光関連は愛知万博に客の動きが大きくシフトされ、前年を割ることは確実と考えられるので、都心のホテル及び飲食店に影響が出てくる。
		百貨店（売場主任）	・土日祝日を中心に、郊外型の量販店に客を取られている状態であり、中心部に客が集まりにくくなっている。
		スーパー（店長）	・今月も客数は前年を上回っているが、単価が約4ポイントダウンしており、結果的に前年売上を割り込んでいる状況が続いている。この傾向は過去数か月続いており、買い控えからの脱却はなかなか厳しい。
		コンビニ（エリア担当）	・漁業の回復もみられず、公共事業を中心とした雇用が続いているが、公共事業の予算も今年度は減少しており、今後景気が向上する要因が見当たらない。
		衣料品専門店（店長）	・客との会話でも先行きに希望を寄せている話題は出てこない。年金等暗い話が多いので気を落としている。
		家電量販店（経営者）	・炭鉱離職者への就職促進手当がストップとなり、購買力が更に厳しくなっている。
		家電量販店（地区統括部長）	・競合の出店が活発化してきているが、全般的にはこう着状態にある。
		高級レストラン（スタッフ）	・愛知万博への客の流出が懸念され、一向に明るい材料がない。
		高級レストラン（スタッフ）	・5月は前年から予約件数が増えているが、客単価は下がっている。6月は少し客単価が上がっているが、予約件数が少ない。ゴールデンウィークの後には客数がかかり落ち込むことがあるので、このまま景気が回復するとは予想しにくい。
		一般レストラン（スタッフ）	・来客数はある程度回復しそうだが、客単価は低いまま推移しそう。特に低価格でお得なサービスメニューや感謝メニューには素早く反応する傾向がますます顕著になってきている。
		観光型ホテル（スタッフ）	・ゴールデンウィークの日並びが良いことから5月は増加が期待されるが、その後は愛知万博の影響や中国・韓国の反日運動の動向次第で外国人旅行者が減少する恐れがある。
		旅行代理店（従業員）	・道内の消費が増えていない。東南アジアや中国など、従来の観光スポットだったエリアに自然災害や治安上の問題が多く、熟年層を中心に買い控えが広がっている。
		タクシー運転手	・これから各種イベント等も開催されるが、新規免許台数も増えていることから大きく期待はできない。
		観光名所（職員）	・いつもタクシーの空車を注目しているが、依然として空車が目立つ。恐らく今後もしばらくこの状況が続くだろう。
		その他レジャー施設（職員）	・セ・リーグとの交流戦が終了したところで、通常のパ・リーグの公式戦に戻った際に、どのくらい客が来場するのか、分からない面がある。
		住宅販売会社（従業員）	・デフレ現象にあるため、個人の収入面での増加は考えにくく、今後も変わらない。
やや悪くなる		一般小売店〔土産〕（店員）	・愛知万博の影響、あるいは空港に限って言えば、周辺にアウトレットモールやスーパー等大きな商業施設ができたことによる集客の分散がある。また電車や航空機の事故により乗り物に対する心理的な不安が、今後の旅行需要に影響するのではと危惧している。
		百貨店（売場主任）	・春物の動きがやはり厳しく、今後も、天候にもよるが、夏物の動きは単価を含めて厳しくなるとみている。

		スーパー（企画担当）	・大型商業施設の出店が加速しており、今後販売単価の更なる低下と客単価の低下が進行する。一方で、税負担や社会保障負担の増加が徐々に家計への影響を強めることも予想される。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・石油製品の価格は更に上昇し、高値で安定する。
		観光型ホテル（経営者）	・明るい材料は旭山動物園への来客だけで、愛知万博や海外への観光客流出など、厳しい局面にある。コスト削減は企業のみならず個人にまで徹底されているのではないかと思われるほどである。北海道の観光資源である花の開花が遅れていることも不安材料として横たわる。
		旅行代理店（従業員）	・関西での列車事故により乗り物に対する不安が出てくるのが心配される。実際に乗り物に対する恐怖感から旅行がキャンセルになった例がある。
		タクシー運転手	・タクシーの新規許可や既存事業者の増車で台数が増え続けている一方で、利用客は減少してきているため、ますます競争が激しくなり、これから先も売上の減少が続く。
		設計事務所（職員）	・公共工事は自治体の合併に伴う特例債の適用を期待しての物件が多く、合併が実現する秋以降の発注となる。また将来を懸念して、安易な特例債の活用に慎重になっている自治体も出てきている。建設業界を中心にみると、景気の好転は期待薄である。
			悪くなる
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・次年度予算を前倒しで執行するゼロ国債関係の契約が何本か入っており、それらの傾向をみると2～3か月先は十分期待できる。
	変わらない	金属製品製造業（経営者）	・金属製造業では、今、原材料の価格が上がってきている中で、値上がり分を価格に反映できない状況が起きている。
		輸送業（支店長）	・石炭の代替燃料への転換及びリサイクル法関連で新たにビジネスチャンスが生まれているが、道内全体でみた場合、影響力は非常に小さいとみている。また従来型産業は、特に改善がみられずプラスに向かうとは思えない。
		通信業（営業担当）	・例年この時期は取引内容に大きな変化はないため、今年も良くも悪くもならないと考えている。
		金融業（企画担当）	・北海道にとっては良い季節となるが、明るい材料に乏しい。観光関連も愛知万博に客が流れることが懸念される。雇用は幾分改善されているが、パート・アルバイトでの採用も多く、給与・賞与などの所得にはそのまま反映されない。個人消費も弱い動きが続くものとみられる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・取引先が、減収を前提として経営計画を立てている話を多く聞く。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・市場規模に対してオーバーカンパニーであるため、デフレは簡単には解消されない。
		その他企業〔コンベンション担当〕（従業員）	・全国大会等による大型物件の入り込みは良いが、個人客や外国人客の動きが鈍い。また中国、韓国等の対日感情の悪化により、対象国への海外ツアーにおいて国内旅行への振り替えが発生しているため、上記マイナス部分をどれだけカバーできるか様子を見たい。
	やや悪くなる	輸送業（営業担当）	・外航船、内航船ともに燃料油の高騰から配船スケジュールに変更が多くみられる。
	司法書士	・土地の売買が少なく、関連する建物新築工事も期待できない状況である。	
			悪くなる
雇用 関連	良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・例年、雪解け以降に求人ニーズの山場を迎える。1～3月の求人件数が前年比較で15%程度と連続して増加したことから、この勢いと例年の求人の山場との相乗効果で求人件数は伸びていく。
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・地域の目玉事業がないものの、このところ求人件数が安定しており、今後もマイナス要因がないことから、微増ではあるものの、プラスのベクトルが感じられる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・企業の採用活動が活発になってきている。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・市や関係する企業からの声は何も聞こえてこない。また郊外の大型量販店でのテナントの状況も良い声が聞こえない。

	職業安定所（職員）	・新規求人は欠員補充が主体であり、パートの割合も高い。
	職業安定所（職員）	・大量求人は、そのほとんどが派遣・請負求人であり、自社社員の増員による求人には大きな変化はない。
やや悪くなる		
悪くなる	-	-